



羽鳥 誠 はとりまこと

1947年、埼玉・川口市に生る / 備前にて修業 / 日本大学・芸術学部・美術学科（彫刻）卒業 / 岐阜県セラミックス研究所・素地釉薬課、修了 / 茨城県玉造（行方市）に伝統的備前窯を築窯、1978年 / 同年より、東京（銀座黒田陶苑、渋谷西武）をはじめ各地の諸画廊にて伝統的作品の個展を重ねる、1992年まで / 以降、作品の発表は海外のコンペティションに移り、造形作品が主体 / 2007年、茨城県守谷市に工房を移転、伝統的焼成を離れる。

（英）マンチェスター・メトロポリタン大学・陶芸科客員教員、1992年 / （英）コンテンポラリー・アブライト・アーツ（クラフト・カウンシル、インデックス）会員、1994～1996年 / （リトアニア）パネバジス国際陶芸シンポジウム招待、1996、1998年 / 英国陶芸家協会 “アース&ファイヤー” 招待、1997年 / （ハンガリー）国際陶芸スタジオ招待、2006年 / （中国）国際陶芸誌編集者会議（ICMEA）招待、2007年。

スタジオ・アーティスト（陶芸・陶造形）

Ancient Style, Modern Sensibility

主な出展歴

朝日陶芸展、1986年。 伝統工芸新作展1978～1991年まで、9回出展。
（イタリア）ファエンツァ国際陶芸コンペティション、1993、2005年。
（英）ロンドン、リー・ギャラリー個展、1993年。
（ニュージーランド）国際展、フレッチャー・チャレンジ陶芸賞展、1994、1996年。
（エジプト）カイロ国際陶芸ビエンナーレ、1994、1996、1998、2000年。
（英）スタジオ・セラミックス'94（英国陶芸家協会）。
（ベルギー）アンデンヌ 国際ビエンナーレ陶芸祭、1996年。
（独）国際コンペティション“ザルツブランド”、1996（受賞）、2000年。
（米）コンテンポラリー・アート・ワークス・オヴ・フェス'97。
（クロアチア）国際トリエンナーレ“スモール・セラミックス”、1997年。
（英）“パーティ・ピース”（英国陶芸家協会）、1997年。
（南ア）国際展“セラミックス・ビエンナーレ”1998、2000年。
（米）セラミック・インターナショナル・ジュラウド、1998年。
（豪）“エッジ・トゥ・エッジ”（ヴィクトリアン陶芸協会）、1999年。
（豪）第19回ゴールド・コースト国際陶芸賞展、2000年。
（台湾）第6回台湾ゴールド・セラミックス・アワード、2000年。
（エストニア）タリン・アブライド・アート・トリエンナーレ2000、2000年。
（韓国）韓国国際陶磁器ビエンナーレ、2001、2003、2015、2017年。
（豪）シドニー・マイヤー基金・国際陶芸賞展、2002、2008年。
（米）ビエンナーレ“2 by 2”（東ワシントン大学美術館）、2003年。
（スペイン）マニセス 第6回国際陶芸ビエンナーレ、2003、2015年。

(米) 2005 ウッド・ファイアー競技展、カークウッド・コミュニティ・カレッジ、アイオワ、2005年。
(ハンガリー) 国際シリケート・アート・トリエンナーレ (国際陶芸スタジオ)、2005、2014年 (受賞)、2017年。
(ベルギー) 国際茶碗展2005、ヘミクセム大修道院 (ルペール市陶芸祭)、2005年。
(スペイン) アルコラ国際陶芸ビエンナーレ、2009、2015年。
(スロヴェニア) 第2回国際陶芸トリエンナーレ UNICUM、2012年 (受賞)。
(ルーマニア) クルジュ国際陶芸ビエンナーレ、2013、2015年。
(トルコ) セレス'14・国際陶磁・ガラス展 (トルコ陶芸協会・アナドル大学)、2014。
(ラトビア) マーチンソン賞・国際陶芸展、2016年。
(イタリア) 第5回国際陶芸ビエンナーレ「現代と伝統」アスコリピチェノ、2018。

公的収蔵

(英) 大英博物館 / (英) ヴィクトリア&アルバート / (英) ストック・オン・トレント市立博物館 / (英) マンチェスター美術館 / (英) レディング博物館 / (リトアニア) パネバジズ市立美術館 / (米) ザ・リタジカル・アート・ギルド / (米) ザンシビル・アート・センター / (豪) ヴィクトリアン・セラミック・グループ / (南ア) プレトリア美術館 / (韓国) 韓国陶芸財団 / (米) 東ワシントン大学 / (米) カークウッド・コミュニティ・カレッジ / (ハンガリー) 国際陶芸スタジオ / (スペイン) アルコラ陶芸美術館 / (スロヴェニア) ケルンテン美術館 / (ルーマニア) クルジュ・ナポカ現代陶芸美術館 / (トルコ) アナドル大学・現代美術館 / (スペイン) マニセス陶芸美術館

批評小論掲載誌

(英) 「セラミック・レビュー」 No.141-'93 / (英) 「スタジオ・ポタリイ」 No.4-'93、同インター ネット掲載、2007
/ (米) 「セラミックス・マンスリー」 2-'94、5-'95、1-'97、3-'99 / (仏)
「ラ・セラミック・モダン」 No.377-'94、434-'99、448-2000、480-'03 / (豪) 「クラフト・アーツ・インターナ
ショナル」 No.30-'94 / (独) 「ノイエ・ケラミック」 6-'94 / (英) 「ザ・クラフツマン・マガジン」 No.69-'96 / (カナダ)
「コンタクト」 No.108-'97 / (リトアニア) 「KULTUROS BARAI」 8,9-'97 / (英) 「CPA (英国陶芸家協会) ニュ
ース」 1,2-'99、3,4-'01 / (アイルランド) 「ザ・ログ・ブック」 No.22-'05

作品掲載書籍

(米) 「ウィール・スルーン・セラミックス」 (ラーク・ブックス社) ドン・デーヴィス著、1998年 / 「ザ・セラミック・デザ
イン・ブック」 (ラーク・ブックス社) ヴァル・M・クッシング著、1998年 / 「ハンドビルト・テールウェア」 (ラークブックス
社) キャシィ・トリプレット著、2001年 / 「500 ボウルズ」 ラークブックス社、2003年 / (リトアニア) 「パネバジズ国
際陶芸シンポジウム 1996-2006」 (パネバジズ市美術館) 2007年 / (英) 「コンテンポラリー・セラミックス」 (テム
ズ・アンド・ハドソン社) エマニュエル・クーバー著、2009年 / (米) 「ウッド・ファイアー・セラミックス / 100 コンテンポラ
リー・アーティスト (シェファア出版) アメディオ・サラモニ著、2014年



羽鳥誠陶造形工房
茨城県守谷市久保ヶ丘 3-3-1
makotohatori@msn.com

